



Acis and Galatea

ヘンデル オラトリオの原点

エイシスと ガラテア

2011
1/13
(木)

HANDEL
FESTIVAL
JAPAN 2010

第8回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン



企画 1：講演会「《エイシスとガラテア》の魅力」

日時：2011年1月8日(土) 14:00～16:00

会場：浜離宮朝日ホール、リハーサル室

講師：三澤寿喜

入場料：一般2000円、支援会会員1400円、学生1000円

企画 2：《エイシスとガラテア》HWV 49a

簡潔にして劇的、不朽の名作 - 原語(英語)上演、演奏会形式、字幕付き

2011年1月13日(木) 19:00開演(18:30開場)

浜離宮朝日ホール

終演予定20:40(演奏時間約93分：休憩なし)



独唱 エイシス＝辻裕久(テノール)
ガラテア＝広瀬奈緒(ソプラノ)
ポリフィーマス＝牧野正人(バス)
デモン＝前田ヒロミツ(テノール)

合唱＆管弦楽 キャノンズ・コンサート室内合唱団＆管弦楽団
指揮 三澤寿喜



入場料(全席指定)：一般S:6000円 A:5000円 学生(当日のみ)＝3000円
支援会会員S:4200円 A:3500円
お得な2公演通し券 Sセット:7200円 Aセット:6300円

*学生券・・・アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

*通し券・・・アレグロミュージックにて取り扱い、前売りのみ。

チケット取り扱い：アレグロミュージック 03-5216-7131

東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650



主催：ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会 <http://handel-fj.org/index.html>

協力：東京古典楽器センター(チェンバロ) 池上ルーテル教会 HFJ支援会HANDELIAN

助成：公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団 財団法人朝日新聞文化財団

後援：インターナショナル・ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツ、ハレ)

マネージメント：アレグロミュージック03-5216-7131

問い合わせ：HFJ事務局(三澤) 0297-82-7392 jimukyoku@handel-fj.org



第8回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン HANDEL FESTIVAL JAPAN(HFJ) 2010 激情人、劇場人、ヘンデル 「オラトリオの原点」

企画 1：講演会「《エイシスとガラテア》の魅力」

ヘンデルは本作より 10 年前の 1708 年にイタリアのナポリで同じ題材に拠るイタリア語セレナータ《アーチ、ガラテアとポリフェーモ》(HWV 72) を作曲しています。ここでは、イタリア語作品と比較しつつ、《エイシスとガラテア》の魅力を徹底的に探ります。

企画 2：《エイシスとガラテア》HWV 49a 全曲演奏

ヘンデル・フェスティバル・ジャパンは 2003 年の第 1 回公演ですすでに《エイシスとガラテア》を演奏しました。8 回目となる本フェスティバルでも再度《エイシスとガラテア》を探り上げます。前回は、合唱部分をヘンデルの初演に倣って重唱で演奏しましたが、今回は文字どおり「合唱」で演奏します。こうすることで、独唱・二重唱・三重唱と合唱の対比は一層際立ち、劇的効果を増します。

《エイシスとガラテア》はのちの英語オラトリオの原点となる重要な作品です。同時に、作品そのものが極めて魅力的で、初期英語作品の傑作と評されています。その人気は、モーツァルトやメンデルスゾーンが編曲・上演した 18 世紀末や 19 世紀前半ばかりか、今日まで衰えることがありません。

《エイシスとガラテア》HWV 49a について

作曲：1718年5月頃

初演：1718年6月頃

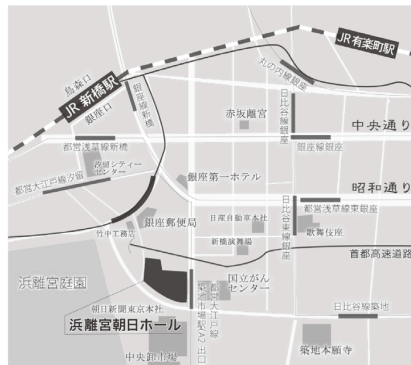
キャンノズのジェイムズ・ブリッジス(のちのシャンドス公爵)邸

台本：ジョン・ゲイ、アレクザンダー・ポープ、ジョン・ヒュース、ほか。

題材：オウィディウス『変身物語』第13巻「ガラテアとアキス ポリュモス」
あらすじ：愛し合うエイシスとガラテア。しかし、ガラテアに思いを寄せる醜い目巨人ポリフィーマスが現れ、エイシスと決闘となります。エイシスは巨人の投じた巨岩の下敷きとなって息絶えます。悲しみに沈んだガラテアは神の業を揮い、エイシスを小川に変え、永遠の命を与えます。

聴きどころ：台本は複数のイギリス人詩人達が共同で作成しました。彼らが台本作成で最も知恵を絞ったのは「簡潔さ」でした。それは、複雑で込み入ったイタリア・オペラの台本とは対極のものでした。ヘンデルも詩人達の意図を汲んで、簡潔な音楽付けをしています。加えて、その抜群の劇的センスによってメリハリを効かせ、単純明快なギリシア神話のドラマを感動的に描いていきます。

三澤寿喜



浜離宮朝日ホール

中央区築地 5-3-2
Tel 03-5541-8710

- ・都営地下鉄大江戸線・築地市場駅 A2 出口、3分。
 - ・地下鉄日比谷線・東銀座駅 6番出口 徒歩約1.2番出口から徒歩7～8分。
 - ・都営浅草線・東銀座駅 6番出口から徒歩7～8分、新橋駅から約15分。
 - ・JR 新橋駅銀座口から徒歩約15分。
 - ・新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】中央卸売市場行きまたは「朝日新聞館」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」下車。
- ※駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用ください。
(問い合わせ先: 03-3542-0341)

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.8 (HFJ 2010) THEME: "Starting Point of Handel's Oratorios"
MOTTO : HANDEL, A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE
PROJECT I

Lecture: "Attractiveness of Handel's ACIS & GALATEA "

14:00, Saturday 8th January, 2011 / Hamariky Asahi Hall, Rehearsal Room, Tokyo

Lecturer: Toshiki Misawa / Tickets: ¥2000 (Free seating) Students = ¥1000

PROJECT II

Masque ACIS & GALATEA (HWV 49a)

19:00, Thursday 13th January, 2011 / Hamariky Asahi Hall, Tokyo

Hirohisa Tsuji(T) Nao Hirose(S) Masato Makino(B) Hiromitsu Maeda(T)

Choir & Orchestra: CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR & ORCHESTRA

Cond: Toshiki Misawa

Tickets: S = ¥6000, A = ¥5000, Students = ¥3000

Organized by Committee of HANDEL FESTIVAL JAPAN <http://www.handel-f-j.org/>

Directed, Produced and Edited by: Toshiki Misawa

Endorsed by GEORG-FRIEDRICH-HANDEL-GESELLSCHAFT, Internationale Vereinigung, e.V.,

For further information, please contact: HFJ Committee Office: TEL + 81-297-82-7392

jimukyoku@handel-f-j.org

出演者プロフィール

三澤寿喜 Toshiki Misawa(指揮)

HFJ 実行委員長。北海道教育大学教授。国立音楽大学大学院修了。主要編著書：『ヘンデル』（音楽之友社）、『ヘンデル・アリア選集』（全 3 巻：全音楽譜出版社）、『ヘンデル二重唱曲集』（音楽之友社）等。主要訳書：ホグウッド『ヘンデル』（東京書籍）等。HFJ 没後 250 年記念《メサイア》全曲指揮（09 年 4 月 20 日）は「時代と呼応する感性」（吉田純子氏：朝日新聞）、「学究と演奏とが高い次元で融合」（吉村漢氏：音楽の友）と評された。

辻裕久 Hirohisa Tsuji(テノール：エイシス)

HFJ 実行委員。東京藝術大学声楽科卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院修了。1994 年故ダイアナ妃後援による《メサイア》公演のソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来、オペラ、オラトリオ、古楽のソリストとして国内外で活躍。CD に『ベンジャミン・ブリテン歌曲集』Ⅰ、Ⅱ、『ヴォーン・ウィリアムズ歌曲集』、『ベリニーニ歌曲集』、『メサイア』など。公式 HP：<http://www.soundinternationaljapan.com>

広瀬奈緒 Nao Hirose(ソプラノ：ガラテア)

英国王立音楽大学大学院古楽科を、上級ソリスト・ディプロマを最優秀賞にて取得し、首席で卒業する。ソリスト、アンサンブル・メンバーとして、ブルージュ国際古楽コンクール、古楽コンクール（山梨）にて受賞。「ラ・スフェラ・ムジカーレ」として CD をリリース。「安定した技巧と清楚な歌声で 20 年前のカークビーを思わせる」（那須田務氏『音楽現代』）と評され、古楽のフィールドでの新しい旗手として意欲的な活動を展開している。

牧野正人 Masato Makino(バス：ポリフィーマス)

所属する藤原歌劇団では《椿姫》《アイダ》《ボエーム》等に出演。新国立劇場にも《リゴレット》《ナブッコ》《セビリアの理髪師》等、度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。イタリア・バロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。ジローオベラ賞受賞。洗足学園音楽大学教授。ロッシェニ協会会員。

前田ヒロミツ Hiromitsu Maeda(テノール：デイモン)

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。2000 年 4 月に渡英、ロンドン英国王立音楽院大学院演奏ディプロマコース修了。ヨーロッパ各地においてコンサートや教会音楽のソリスト、アンサンブル・メンバーとして活動。オペラではホルンパーク野外オペラ劇場、ベンスロー・バロック・オペラ等に出演。セントオーバンス音楽フェスティバル英語歌唱部門最優秀賞。帰国後は英国歌曲の演奏を積極的に行っている。

キャンノズ・コンサート室内管弦楽団

CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA(CCCO)

HFJ 専属古楽管弦楽団。2003 年の発足以来、緻密で、生き生きとした演奏で定評がある。2010 年 2 月に《陽気の人、ふさぎの人》と《聖セシリアの祝日のためのオード》を指揮したイギリス人指揮者クリストファー・ホグウッド氏からも、個々のメンバーの実力が高く評価された。現在のコンサートマスターは廣海史帆。

キャンノズ・コンサート室内合唱団

CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR(CCCC)

HFJ 専属の少数精鋭プロフェッショナル合唱団（標準編成 20 名）。2005 年の発足以来、辻裕久氏の指導のもと、明瞭で美しい英語の発音、透明なハーモニー、豊かな表現力で注目されている。HFJ 公演を指揮したイタリア人指揮者エンリコ・オノフリ氏（2008 年 1 月）とホグウッド氏（2010 年 2 月）も異口同音にこの合唱団の実力を絶賛。

HFJ を支援する会（HANDELIAN）：年会費 1 口 1 万円。会員特典は HFJ の公演プログラムへのお名前記載（ご希望により）、HFJ の主催公演の優先予約と割引（概ね 3 割引き）、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号として好きなヘンデル作品番号 HWV の取得（先着順、重複不可）などがあります。
お申し込み、お問い合わせ：HFJ 支援会事務局 jimukyoku@handel-f-j.org